

☆実態及び課題

教科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	正しい筆順や、字の形に気を付けて書くことや、助詞を文の中で正しく使うこと、促音・拗音などの表記が不完全な児童が多い。また自分の思いを話したり書いたりする際に、どんな言葉を使っていいかわからず戸惑う姿も見られる。	話を最後まで要点を押さえて聞くことが難しい児童や新出漢字が身に付かない児童もいる。書くことには意欲的だが、自分の考えを文章に表す際の表現の工夫については、指導を要する児童が多い。	漢字小テストに向けて一生懸命練習する児童が多いが、既習漢字の定着に課題が見られる。またコロナ禍の影響で発表する場面が少なかったため、今後重点的に取り入れる。	全体的に一つ一つの言葉を大切に読む姿が見られる。一方で4年生になって文章が長くなり、集中力を持続して読むことが難しい児童も多い。 【学力調査】グラフや表などの資料がどのように文章に関連付けられているかを読み取ることを苦手とする児童が多い。	書くことに関して苦手意識をもつ児童が多い。互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合うことが難しい児童も多い。 【学力調査】文の中で文節の働きを正しく理解していない児童が多い。	口頭で説明したり、発表したりする力は優れている児童が多い。文章構成力は不足しているが、文章に書き表すことに苦手意識をもつ児童は少ない。 【学力調査】理由や根拠を明確にして書くことに課題のある児童が多い。
社会			積極的に発言する児童が多くいる。実際に地域へ出て見学することができていないため、実感を伴った理解がまだ不十分である。	印刷した資料や映像資料などの範囲が限定されたものからは正確に必要な情報を読み取ることができるが、教科書全体やパソコンなどの広い範囲から必要な情報を探すことに難しさを感じる児童が多い。	地図や資料の読み取りでは、多くのことを気付ける児童もいるが、資料をどう見たらいいかわからない児童もいる等読み取りの力の差が激しい。	資料の読み取りの力が高い児童が多く、学び合う中で資料から正確に調べることができる。一方で、課題意識をもって調べられない児童や、調べたことから考えたことを書くことが苦手な児童が多い。
算数	文章問題になると立式が難しい児童がいる。場面を想像し、図や言葉で考え方を伝えたり、立式したりする力を伸ばす必要がある。	学力の差が激しい。長さや水のかさの単位換算が難しい児童が多くいる。さらに、自分の考えを適切な言葉を使って説明することに難しさを感じている児童が多い。	問題文の読み取りが不十分だったり、繰り上がり、繰り下がり、計算や九九等基本の計算が不確実だったりするなどの様子が見られる。個々の実態を把握し、個別に対応する必要がある。	わり算やかけ算などの決められた計算は素早く理解することができる。一方で文章問題や応用問題など、「読む」や「知識を活用する」など複数の技能が同時に求められる問題に難しさを感じる児童が多い。 【学力調査】問題文の内容を具体的なイメージや身近な生活場面と結びつけてとらえることが苦手な児童が半数程度いる。	小数のかけ算、わり算において、立式はできても、答えを出せないことが多い。また、自分の考えを、図や絵を用いて表現することに難しさを感じる児童がいる。 【学力調査】小数÷整数の計算で、筆算の仕方や小数点の処理の仕方を誤ってしまう児童が多い。	基本の計算や作図はよくできる。基本的な文章問題は解答することより説明することに難しさを感じる児童が多い。少し難解な文章題になると混乱する児童も少なくない。 【学力調査】計算過程の説明や数の意味を説明することが苦手な児童が多い。
理科			興味関心がとても高い。植物を栽培したり、モンシロチョウを飼育したりする活動に熱心に取り組んだ。2学期以降は、問題解決能力の基礎が育つように取り組みたい。	既に知識が豊富な児童と、自分の身の周りの事象と学習内容が結びつかずに難しさを感じている児童の差がある。	植物の発芽や成長に興味をもつ児童が多かったが、知識を習得するに留まり、なぜ、そのような事象になるのかを考察しようとする児童は少ない。	条件を考えて実験をしたり、様々な視点から観察をしたりすることができる。結果から考察することができる児童も多いが、本時の課題と結びつけて考察を考えられる児童はやや少ない。
生活	学校や友達、自然や生き物、季節の変化について、気付いたことを積極的に発言したり、カードに記したりしている。今後は身に付けてきた力を生かし、活動を広げたい。	ミニトマトやザリガニの、世話や観察をすることを意欲的に取り組んでいる。しかし、観察のポイントを押さえて記録している児童は多くない。				
音楽	音楽に合わせてリズム打ちをしたり、音楽に合わせて身体を動かしながら強弱や速度を感じ取ったりする活動を中心に進んで学習している。1学期は歌唱・器楽(鍵盤ハーモニカ)ができなかったため、歌唱や演奏方法の基本を定着させたい。	鍵盤ハーモニカの学習では、運指練習のみ行ったが、個人差が見られる。音楽に合わせて身体を動かす活動では、進んで学習に取り組む児童が多い。	リコーダー学習では、実際に音を出して音色を確かめながらの活動はできなかったため運指練習のみ行った。習得が不十分な児童に対して、個別の支援が必要である。	歌詞を読み取り、どんな風に歌いたいかを考えたり、鑑賞から音楽の要素や仕組みを聞き取ったりする活動に進んで取り組んでいる。1学期は歌唱・器楽(リコーダー)の実践ができなかったため、歌唱や演奏方法を定着させたい。	器楽合奏に意欲的に取り組むが、基本的な奏法が身に付いている児童は少ない。正しい楽器の扱い方や基本的な奏法の習得を基に、思いや意図を演奏の工夫に生かせるようになることが課題である。	鑑賞では聴き取ったことをもとに楽曲のよさを文章にしてまとめる活動を行ったが、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取ってまとめる力に個人差が出やすい。

図工	様々な学習活動に対して興味があり、意欲が高い。好きなものへのこだわりは強く、興味のない物を創作することは少ない。	発想豊かで、相手意識をもち、自分らしく表現できる児童が多い。一方で自分が興味をもったことに気持ちが向かい、授業に集中して取り組めない児童も少なくない。	2年時より細かい作業も集中して取り組める児童が多くなってきた。一方で自分の気持ちが向かないと活動意欲が低下してしまう児童もいる。	児童に全体指導したあとの理解が速い。自分の世界の中で、どうしたら完成予想に向かって実現できるか建設的に考えられる児童が多い。イメージを形にするまでに特に時間がかかる児童もいる。	思春期に入っているせいか、自分の表現を人に見られるのに抵抗のある児童も見られる。自分の作品や表現を一人一人がより自信をつけられるよう指導していきたい。	学年全体が友好的で明るく、男女ともに仲が良く、楽しそうに取り組んでいる。じっくり表現を深める児童も多く見られるが、浅い表現で満足してしまう児童もいる。
家庭					新しい教科に対する関心が高い。裁縫の実技は取り組み始めたばかりで個人差もあるため、裁縫の仕方の基本を定着させたい。	理解力の高い児童が多い。実技の苦手な児童に対し、他の児童が代わりに行うのではなく、自力でできる方法を考えることが課題である。
体育	より楽しい遊び方に気付いたり、友達のよい動きをまねしたりする様子が見られ始めた。今後は友達と協力して学び合う良さを感じさせたい。	走・跳の運動遊びでは、鬼ごっこやリレーを楽しみ、素早く逃げる方法やより速く走るポイントを考えることができていた。規律としての集合・整列には課題が残る。	どの児童も「できるようになりたい」という思いをもって取り組んでいるが、個人差が大きい。それぞれの児童の運動上の課題を把握する必要がある。	1学期は様々な制限があったが、決まりを守り楽しみながら運動することができた。体の使い方が上手いかわからない児童が多いので、多様な運動経験をさせていきたい。	運動に進んで取り組む児童が多い。しかし、運動のポイントを友達に進んで伝えようとする児童は少ない。	運動に進んで取り組む児童は多い。短距離走、跳躍などの運動が苦手な児童が多い。巧緻性、敏捷性、バランス感覚などは平均的な力がある。
道徳	教材を通して、じっくり自己内対話をするのが難しい児童が多い。	毎時間、教材を通して自分の考えをもつことのできる児童が多かった。一方で、考えをノートに書いたり、話し合いで伝えたりすることのできる児童はまだ多くない。	教材を通して自分の考えをもつことができる。友達の意見を聞いて自分の考えと比べるまでには至っていない児童が多い。	自分の考えだけでなく、友達の考えも大切に作る姿が見られる。書いて表現することが苦手な児童が多い。	意見の交流や議論を通して、自分の考えを深められる児童がいる一方、深められない児童もいる。	意見を積極的に発信する児童と、受け手に回る児童に二極化している。意見を言えない児童も意見を書くことはできる。
外国語					聞くことに関して、苦手意識をもっている児童が多い。児童間では、進んでコミュニケーションを取ろうとする児童が多い。	単元末のスピーチでは、既習の表現を活用して、相手に伝えようと工夫して発表していた。書くことにも意欲的であるが、苦手意識をもっている児童も少なくない。

☆課題解決の視点・手立て ※取り組む内容 課:課題 学:学習形態 発:発問・指示・板書 教:教材の工夫

教科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	視点・手立て	評価・修正	視点・手立て	評価・修正	視点・手立て	評価・修正	視点・手立て	評価・修正	視点・手立て	評価・修正	視点・手立て	評価・修正
国語	教話型や文型を提示したり、例をいくつか示したりして、段階的に児童が力を付けられるように工夫していく。	教発表や発言の際の話型・文型の定着はまだ難しい児童がいるので、少しずつできるよう繰り返し指導している。	学話す・聞く単元の指導に力を入れる他に、朝のスピーチなど日頃から話す・聞く機会を習慣的に増やす。教書く指導の際には、よりよい表現を学ぶことができる「手本文」やワークシート(メモ)を効果的に使う。	学話す・聞く機会を増やすことで、話し方や聞き方の定型が身に付いた。教手本文は、児童の実態に応じて段階的に提示する必要があった。提示の仕方を工夫し、書くことに意欲をもたせる。	教漢字小テストをこまめに実施し、習熟を図るとともに文章の中にも適宜使えるように指導していく。学ソーシャルディスタンスに配慮しつつ、発表の場を増やし、指導をする。	教漢字の学習では、漢字のテストを繰り返したことで、個人差はあるが定着を図ることができた。学デスクシールドを使い、5分程度の話し合いを行うことで、自信をもって発表できる児童が増えた。	教文字を読むことに慣れるために、他の教科も含めて児童が主体的に活字に触れられる機会を増やしていく。【学力調査】教文章を書くときやプレゼンテーションなどの活動を行うときに、図表などの資料とどのように関連付けていくかという指導を行っている。	教本文をもとに自分の考えをもてるような活動の工夫をすることができた。【学力調査】教相手に伝えるという意識をもつことで、自分の表現を客観的に捉え、より良い活動を目指す姿が見られた。	教書くことの指導では、文章の型を提示し、意欲的に取り組めるようにする。課話し合い活動を計画的に取り入れ、考えたりまとめたりする機会を設ける。【学力調査】教自分が書いた文章を推敲する時に、主語や述語の照応を意識させ指導を行う。	教書くことの指導では、文章の型を提示することで意欲的に取り組むことができた。課話し合い活動を計画的に取り入れることで、自分の考えをもち、意見を発表しようとする児童が増えた。	発発表の機会を増やし、話す力を高めたい。教書きたい気持ちを高める設定を工夫しながら、例示された文の組み立て方に従った文章を書く経験を増やす。【学力調査】教文章を書くときは、理由や根拠を明確にして書くよう、指導していく。	発小グループの発表の機会を増やし、話す力を高めた。教自分の要求することを主張の題材にするなどして、書きたい気持ちを高める設定を工夫した。

社会					<p>【教】実際に見学へ行けない場合には、映像資料などを活用して、児童が実感を伴って理解できるように工夫する。</p>	<p>【教】見学には実際に行くことができなかったが、映像資料を活用することで、文京区の町について理解を深めることができた。</p>	<p>【教】いろいろな教材提示を行い、必要な情報を探して調べられるようにしていく。</p>	<p>【教】教科書、地図帳、タブレットなど様々な情報から欲しい情報を探すことができた。また、情報を限定した方がよい場合には、ページを指定するなど、柔軟に対応できた。</p>	<p>【課】各単元で地図や資料を読み取る活動を多く取り入れる。 【発】資料を読み取る時の視点を細かく示し、資料から分かることは何かを確認していくこと。</p>	<p>【学】話し合い活動を取り入れ、調べた事実から社会的事象の意味について考えられるようにしていく。 【課】課題意識が継続できるように、単元や1時間毎の問いを精選して授業を構成する。</p>	<p>【学】調べたことから考えたことを書き、話し合い、社会的事象の意味を考えることができた。 【課】児童の疑問や問題意識を生かして単元の問いを設定し、課題意識をもちながら学習を進めることができた。</p>	
算数	<p>【課】考えを絵や図に表現して考える等の力の基礎を計画的に養っていく。 【教】計算処理などは算数ブロックを使って数量的なとらえ方を理解させる。</p>	<p>【課】2学期後半からノートに絵や図に表現して考えるようになってきた。また、書くのが難しい児童もブロックを用いて表現できるようになった。 【教】算数ブロックを取り入れ、具体物操作をすることで十のくらいまでの数の概念が定着した。</p>	<p>【学】学習の始めに、既習内容の復習の時間を確保する。単位換算については、具体物を用いた活動を通して理解しやすくする。 【教】習熟度別に課題の難易度を変え、一人一人が主体的に取り組める学習活動の展開を図る。</p>	<p>【学】復習の時間をとることで、本時の学習につなげることができた。単位換算や繰り上がり繰り下がりの仕組みも、数カードを用いることで理解しやすくなった。 【技】課題の難易度を変えたり、課題提示を工夫したりすることで、主体的に取り組ませることができた。</p>	<p>【学】朝学習や宿題等で基本的な計算練習を繰り返し行い、計算力の向上を図る。文章問題を解くときには、図や絵を用いて説明する活動を取り入れ、問題に対する理解を深める。また実態に応じた、適宜個別に支援を行う。</p>	<p>【学】計算力の向上については個人差が見られる。引き続き、繰り返し練習することで高めていく。文章問題では、図や絵を児童自身にも描かせることで、理解する手立てとすることができた。</p>	<p>【教】図や絵をつかって説明をする活動などを取り入れ、多角的に考えられるようにしていく。 【学力調査】【教】テープ図、線分図など、抽象的な思考へ橋渡しをするための図を意図的に活用し、具体的なイメージをもって問題を解くことができるように指導していく。</p>	<p>【教】線分図や、具体物などを取り入れることで、具体的なイメージをもって取り組むことができていた。 【学力調査】【教】問題文だけでは具体的なイメージがわからないような問題について、様々な方法で抽象から具体へ橋渡しすることができた。</p>	<p>【学】筆算で正確に計算できるよう、十分にその時間を確保するとともに見直しや検算をするよう声をかけていく。 【学】自分の考えを図で表せるよう、数直線を使った表し方をあらゆる単元で指導していく。 【学力調査】【学】筆算の手順と解法の考え方を関連付けて、計算の仕方を筋道立てて考えられるようにしていく。</p>	<p>【学】筆算で正確に計算したり、検算や見直しをしたりすることがまだ十分にできていない。引き続き、声をかけていく。 【学】「速さ」や「割合」の単元では、数直線を用いて式を立てることを繰り返し行ってきた。少しずつではあるが、自分の考えを表せるようになってきた。</p>	<p>【発】まずは文章題で何が問われているのかを捉えさせる。そして図や数直線図などに示して、値の関係や立式の仕方など、解決方法の見通しをもたせてから自力解決ができるようにしていく。 【学力調査】【教】図形の面積の計算で、数字の意味を言葉で説明する経験を増やす。</p>	<p>【発】異種の数量の関係を表や図等に表し説明する活動を取り入れることにより解決方法の見通しをもたせることができた。 【学力調査】【教】図形の面積の捉え方を図や言葉で説明する活動を多く取り入れた。</p>
理科					<p>【教】3年生の発達段階に応じ、事象や結果から考えられることを2つに絞って比較し、問題の解決を図る場面設定を授業の中で繰り返し設けていく。</p>	<p>【教】事象や結果から考えられることを2つに絞って比較する場を繰り返し設定し、問題解決の基礎的な学習方法を学ばせることができた。</p>	<p>【教】児童が「身の周りの事象」という感覚をもてるように、日常生活の中で自然事象を適宜取り扱い、意識づけをさせていく。</p>	<p>【教】日常生活の経験に差があることが分かった。普段の生活から教師が意識して指導していくようにする。</p>	<p>【発】結果から分かったことをまとめさせることはもちろん、なぜそのような事象が起きるのかを考えさせるようにし、考察する力を高めていく。</p>	<p>【発】結果の「なぜ」を考えさせたことで、考察する力が高まってきた。一方で、結果を受けて、何を考えたらよいのかが分からない児童もいるので、全体で丁寧に考察するようにしていきたい。</p>	<p>【課】教科書の言葉をそのまま課題にするのではなく、児童の思考に沿った言葉で本時の学習課題を考える。 【発】結果から考察やまとめをする際に、本時の課題に迫れるように発問を工夫する。</p>	<p>【課】導入を工夫することで、児童の疑問を生かした本時の学習課題を設定することができた。 【発】考察の時に本時の課題を再度問いとして発問することで、課題を意識してまとめが出来た。</p>

生活	<p>発 児童の気付きの質を高められるような助言を心がける。</p> <p>教 児童の気付きから次の活動につなげられるようにワークシートを工夫する。</p>	<p>発 児童の気付きは多く出たが、質を高めるまでには至らなかった。</p> <p>教 事前にねらいにそった質の高い気付きを予想する必要があった。</p> <p>教 児童の思いや気付きが絵や文で表せるワークシートの工夫ができた。</p>	<p>発 観察するポイントを、必要に応じて書かせる。</p> <p>教 観察するポイントを書いている児童のカードを全員で共有し、書き方を確かめる。</p>	<p>教 観察・創造・自己の振り返りができるように、ワークシートに段階を設け、全員で共有しながら書かせることができた。</p>								
音楽	<p>学 楽しみながら音楽に関わる活動を通して、基礎的な知識や表現の能力を育てていく。</p> <p>発 場面に応じた指示と助言を行う。</p>	<p>学 音楽に合わせて打楽器でリズムを打ったり、身体を動かして曲の特徴を感じ取ったりする活動を楽しんでできた。</p> <p>発 児童の発言や様子から、その都度場面に応じた助言を行った。</p>	<p>教 鍵盤ハーモニカの運指が視覚的に理解できるようにICT機器を活用したり、必要に応じて個別の指導を行ったりする。</p> <p>学 振り返りカードの活用で次時への意欲を高める。</p>	<p>教 鍵盤ハーモニカは個別の指導を多く取り入れ、基礎力の向上を目指した。</p> <p>学 合格カードを活用し、意欲を持って取り組めるよう工夫した。</p> <p>リズム表現を取り入れ、楽しみながら活動できるよう工夫した。</p>	<p>教 リコーダー運指練習のために視覚的にわかりやすい資料やICT機器の活用を行う。</p> <p>発 必要に応じて個別の指導や、場面に応じた指示と助言を行う。</p>	<p>教 ICT機器や拡大した運指表を使用することで、音を出して聴いて確かめる活動ができなくても、視覚的に確認しながら学習ができた。</p> <p>発 児童の発言や様子から、その都度場面に応じた助言を行った。</p>	<p>教 児童の実態に合わせた題材の工夫や選曲を行う。</p> <p>発 場面に応じた指示と助言を行う。</p>	<p>教 児童の学習の進捗・定着状況に応じた題材の設定を行った。</p> <p>発 児童の発言や様子から、その都度場面に応じた助言を行った。</p>	<p>教 基本的な奏法を繰り返し行い、身に着けさせる。さらに思いや意図を演奏の工夫に活かせるような題材の工夫や選曲を行う。</p> <p>発 必要に応じて個別の指導や、場面に応じた指示と助言を行う。</p>	<p>教 合奏では、それぞれのパートの役割をもとに自分たちの思いや意図する曲の感じを表現するために楽器の重ね方を学習した。</p> <p>発 児童の発言や様子から、その都度場面に応じた助言を行った。</p>	<p>教 音楽を形づくる要素の関わりを明確におさえる。その上で児童の実態に合わせた題材の工夫や選曲を行う。</p> <p>発 必要に応じて個別の指導や、場面に応じた指示と助言を行う。</p>	<p>教 鑑賞の学習では音楽を形づくる要素や音楽の仕組みをもとに自分の感じたこと気付いたことをまとめることができた。</p> <p>発 児童の発言や様子から、その都度場面に応じた助言を行った。</p>
図工	<p>課 鑑賞の時間を多く設けることで、様々なものに対して興味をもてる機会をつくる。</p>	<p>課 友達の作品を鑑賞する時間をつくることで、互いを認め合ったり、次への意欲へつながったりした。</p>	<p>教 新しい素材と出会う機会を多くもつようにすることで、創作意欲を刺激し、なかなか取り組めない児童に関心をもたせる。</p>	<p>教 単元のサイクルが短いのでさまざまな種類の素材や技法に合わせることができた。</p>	<p>課 自分の気持ちが向かないと活動意欲が低下してしまう児童に対して興味をもてるポイント探しや、教師との人間関係を構築する。</p>	<p>課 周りの児童の取り組む態度や作品が刺激となり、活動意欲を向上する児童が複数見られた。</p>	<p>発 作品がイメージしやすい言葉がけをする。</p> <p>学 互いに見合う時間を設け、友達の良さから学び、児童同士が高めあえるようにする。</p>	<p>発 児童の身近に感じられる例を取り上げた。</p> <p>学 電子黒板等で完成作品を見て児童同士が刺激し合えた。</p>	<p>発 個に応じた問いかけをしたり、作品や表現の良さを教師が褒めて、自分の作品や表現に対して自信をつけられるようにする。</p>	<p>発 一人一人の表現に正解や間違いではなく、どの子もやり切った作品は完成度が高まることを作品から感じさせられた。</p>	<p>発 一人一人に声掛けをする機会を増やし、より良い作品や表現をしようという意欲を高めていく。</p>	<p>発 元々夢中になって制作に励む児童が多かったが、木版画の作品はどの子も自分のベストを出し尽くした出来栄えとなった。</p>
家庭									<p>学 裁縫の手順の説明を細かく示したり、電子黒板で実際に見せたりして、裁縫の基本を指導する。また実態に応じて個別に支援を行う。</p>	<p>学 裁縫に初めて取り組む児童が多かったが、裁縫の手順の説明を細かく示したり、電子黒板で実際に見せたりすることで手縫いやミシン縫いに</p>	<p>学 裁縫の手順を細分化したり、一つ一つの実技のやり方を示したりして、自分の力で取り組めるようにする。</p> <p>教 裁縫は複数の制作例を提示することにより、実生活で使おうと</p>	<p>学 進度を点検し、個別にアドバイスカードを活用して助言することで意欲が高まった。</p> <p>教 クッション・トートバック・ナツ</p>

									課)トライカードを活用し、学校で学んだことを家で実践し、家族の喜びを次のやる気につなげる。	興味をもって取り組めた。	思える物を製作する。	プザックの3種類の製作例を提示し、製作の意欲を高めた。
体育	学)友達と一緒に運動する際に自分の役割を果たせるよう、学び合いの仕方について丁寧に指導する。	学)用具の準備や片づけにおいて協力しながら進めるようになった。グループの活動では互いのいいところを見つけ、発表することができる児童が増えた。	発)友達の良い動きを見付け、自分の動きに生かしていくことができるように、伝え合う場を設けたり、動きのポイントの指導に力を入れたりする。学)集団行動や安全面の確保は徹底する。	発)動きの大事なポイントを、児童を手本にして指導することで、友達のいい動きを見つけ自分の動きに生かすことができた。学)集団行動や安全面の確保を徹底することができた。	教)技能のポイントを明確にした指導を行う。互いの動きを見合う時間を確保し、自分の動きに生かしていくようにする。また児童の運動上の課題に応じて、個別指導を行える場を用意する。	教)イラストの描かれたワークシートを活用して技能のポイントを指導した。それに基づいて、友達と互いの動きを見て、アドバイスをし合うことで、技能のポイントをつかむ様子が多く見られた。	発)コロナ対策を十分にしながら、資料などを通して児童が間接的に対話し、関わって学習できるようにしていく。教)技能のポイントを明確にしつつ、安全に配慮して行う。	発)掲示物やノートなどを活用して児童の発言が結びつくようにすることができた。教)みんなにとって課題になる技術の見極めに難しさを感じた。	発)運動のポイントを共有する時間を確保する。伝え合いが上手にできているグループの活動を全体に広めていく。	発)運動のポイントを共有する時間を設定したことで、自分の考えを伝えられるようになった。また、教え合いの場面では、全体で共有したポイントを伝えようとする児童の姿が多く見られた。	課)一人一人の力に合わせた場を設定し、それぞれの目標に合った運動ができるようになる。領域を超えて土台となる体づくり運動を重視し、授業展開に活かす。	課)器械運動では、一人一人の力に合わせた場を設定しそれぞれの目標に合った運動ができるように場を増やした。ターゲット型ボール運動やラケットを使った運動を体づくり運動に取り入れることができた。
道徳	教)自分の生活を振り返る時間を十分にとる。日常生活につなげて児童の変容をみとる。	教)自分の生活を振り返る時間を取りすることで、価値項目について具体的な場面を想像しながら考えることができた。今後は役割演技も積極的に取り入れ、価値項目を考える手立てとしていきたい。	発)教材研究においては発問を吟味し、厳選することで、子供がより一層自分の考えをもち、表現したいと思えるようにしていく。	発)発問の吟味、厳選をすることで、児童に価値項目について考えさせることができた。また、挿絵を活用することで自分の考えを表現したいと思えるようにしていく。	学)発問の吟味、厳選を行い、児童が自分の考えを明確にもてるようにする。また、発言の方法など、授業形態を工夫する。	学)導入の発問を吟味したことで、児童が教材文に関心をもって学習をすることができた。また、書くことや役割演技などの多様な手法を取り入れたことで、児童の考えを明確にすることができた。	発)児童が自分の考えを表現できる時間を多くとることができるよう、中心発問を吟味していく。	教)教材文で何を学べるのかを考えて実践することができた。	学)自分の考えを深められるよう、導入時の自分の考えと終末における自分の考えがどう変わったのかを、理由を含めて書かせるようにする。	学)考えの理由を考えさせることはもちろん、考えの容の理由を考えさせることを繰り返したことで、生き方に対する自分の考えを深められるようになってきた。	学)少人数で話し合い、一人一人が発言できる機会を増やす。発)内的な葛藤が生まれる場面を設定し、発言の意欲を高める。	学)少人数での話し合いに積極的に参加する姿が見られ、発言意欲が増した。発)「手品師」では葛藤が生まれる場面を設定し、発言の意欲を高めることができた。
外国語									発)聞くことの苦手意識を取り除けるよう、繰り返しALTの発音を聞くようにさせる。聞き取れた時には、大いに認めるようにする。	発)ALTの発音を繰り返し聞くことで、アルファベットや短文を聞き取ることができるようになってきている。	教)電子黒板で文の書き方を示したり、PictureDictionaryを活用して単語の意味を理解して書き写せたりするよう指導する。	教)基本的な文の書き方は理解できたが、aやtheなどの正しいつけ方の指導に課題が残った。